別記様式第６

鑑定評価書（令和　８年地価調査）

令和 ８年　７月　３日提出
武蔵野(都)　－ 6　宅地-1

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	有限会社ＫＹ不動産鑑定事務所
武蔵野(都)　－ 6	東京都	多摩第１	氏名	不動産鑑定士　川邊　節子

鑑定評価額	67,500,000 円	１㎡当たりの価格	567,000 円／㎡

１ 基本的事項

(１)価格時点	令和 ８年 ７月 １日	(４)鑑定評価日	令和 ８年 ７月 ２日	(６)路線価	[令和 ８年1月]	450,000 円／㎡
(２)実地調査日	令和 ８年 ６月 23日	(５)価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	倍
(３)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価				倍率種別	

２ 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1)基準地	①所在及び地番並びに「住居表示」等	武蔵野市吉祥寺北町三丁目９８７番２ 「吉祥寺北町３－１３－３１」			②地積（㎡）	119 (　　)	⑨法令上の規制等	
	③形状	④敷地の利用の現況	⑤周辺の土地の利用の状況	⑥接面道路の状況	⑦供給処理施設状況	⑧主要な交通施設との接近の状況	１低専 (40,80) 高度(1種) （その他）	
	1：1	住宅 Ｗ 2	小中規模の一般住宅、アパートが多い住宅地域	南東4 m 私道	水道、ガス、下水	吉祥寺2 km		
(2)近隣地域	①範囲	東　20ｍ、西　10ｍ、南　20ｍ、北　60ｍ			②標準的使用	低層住宅地		
	③標準的画地の形状等	間口　約　11 m、奥行　約　11 m、規模　120 ㎡程度、形状 正方形						
	④地域的特性	特記事項	特にない	街路	基準方位北 ４m私道	交通施設	吉祥寺駅　北西方2 km	法令規制	１低専 (40,80) 高度(1種)
	⑤地域要因の将来予測	吉祥寺駅から距離のある小中規模一般住宅、低層アパートが見られる住宅地域として、今後も現状を維持していくものと予測する。　需要は底堅く地価は上昇傾向。						

(3)最有効使用の判定	低層住宅地			(4)対象基準地の個別的要因	方位　+4.0
(5)鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法	比準価格	567,000 円／㎡		
	収益還元法	収益価格	164,000 円／㎡		
	原価法	積算価格	／ 円／㎡		
	開発法	開発法による価格	／ 円／㎡		
(6)市場の特性	同一需給圏は武蔵野市又は近隣市内にあるＪＲ中央線沿線の住宅地域。需要者は上記圏域に居住し都内に通勤する一次取得者、マンションからの買換え層が中心。最寄駅から距離があるものの人気の高い吉祥寺エリア内にある環境に恵まれた住宅地域で、従来から根強い需要があり地価は上昇している。市場の中心価格帯は１２０㎡程度の土地で７千万円前後、新築戸建住宅で総額１億円前後。				
(7)試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	一般住宅が多い住宅地域であり周辺には共同住宅も見られるが、第一種低層住居専用地域に属し容積率が低いことから収益価格は相当低位に試算された。最寄駅からバス利用の居住の快適性を指向する住宅地域であり、需要の中心は居住を目的とする自用地の取引であることから、周辺類似地域の一般住宅地の取引価格から求めた比準価格を重視し、収益価格は参考に留め、指定基準地との検討を踏まえて、鑑定評価額を上記の通り決定した。				

(8)公規価示準格価と格しをた	①□代表標準地 ■標準地 標準地番号 武蔵野　－ 17	②時点修正	③標準化補正	④地域要因の比較	⑤個別的要因の比較	⑥対象基準地の規準価格（円／㎡）	⑦内訳	標準 街路 0.0 化 交通 0.0 補正 環境 0.0 画地 +1.0 行政 0.0 その他 0.0	地域 街路 +1.0 交通 +5.0 要因 環境 +21.0 行政 0.0 その他 0.0	
	公示価格 687,000 円／㎡	[102.8]／100	100／[101.0]	100／[128.3]	[104.0]／100	567,000				
(9)指か定ら基の準検地討	①指定基準地番号 武蔵野(都)　－ 7	②時点修正	③標準化補正	④地域要因の比較	⑤個別的要因の比較	⑥対象基準地の比準価格（円／㎡）	⑦内訳	標準 街路 0.0 化 交通 0.0 補正 環境 0.0 画地 +1.0 行政 0.0 その他 0.0	地域 街路 0.0 交通 +5.0 要因 環境 +57.0 行政 +1.0 その他 0.0	
	前年指定基準地の価格 865,000 円／㎡	[106.0]／100	100／[101.0]	100／[166.5]	[104.0]／100	567,000				

(10)対年ら象標の基準検準価討地格の等前か	①－１対象基準地の検討 ■継続 □新規 前年標準価格　540,000 円／㎡ ①－２基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討 □代表標準地 □標準地 標準地番号　－ 公示価格　円／㎡ ②変動率　年間　+5.0 %　半年間　%	③価格変動要因の形成状況	（一般的要因）景気が緩やかに回復している中、市内の不動産需要は堅調で地価は上昇傾向が継続している。 （地域要因）吉祥寺駅からバス利用の良好な住環境を維持している低層住宅地域で、周辺には畑が残る。地域要因に変動はない。 （個別的要因）個別的要因に変動はない。